

令和元年12月19日

会員各位

豊中市医師会会長

地寄 剛史

医科歯科連携のシート作成についてのお知らせ

平素より豊中市医師会の事業にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

現在、わが国におきまして、大腿骨近位部骨折をはじめとする骨粗鬆症による骨折は日常生活動作に支障を来し、寿命を短縮させるといわれています。しかし、近年、ビスホスホネート（BP）製剤やデノスマブなどの骨吸収抑制剤による薬物治療が行われるようになり、それらの頻度は徐々に減少してきています。

しかし、骨吸収抑制剤には顎骨壊死（ARONJ：Anti-resorptive agents-related osteonecrosis of the Jaw）のリスクが報告されています。2016年にARONJに対するポジションペーパーが改訂発表されており、その中では従来から提唱されていた休薬の効果については明らかな根拠は認めないとされています。一方、ARONJの発症予防には、口腔衛生の改善が重要とされ、「医科と歯科の連携」が強く推奨されています。

そこで豊中市においても医科歯科連携を強める目的で医師会と歯科医師会で協力して連携シートを作成いたしました。（別紙参照）

医科→歯科用

A：診療情報提供書に基づいた紹介用書式

（B009 診療情報提供料 250 点が算定可能）

この書式は日常多忙な業務の中で必要最小限の情報を簡潔に伝えることが出来るように配慮されております。これらの用紙を活用していただき、医科と歯科が十分に連携しながら、患者様の「歯」も「骨」も守っていければと思います。

※書式に関しましては、豊中市医師会のホームページ「メンバーズルーム」よりダウンロードできますので、ご活用いただきますよう、お願い申し上げます。